大会名称: **東日本大震災復興支援**
第10回全日本社会人バスケットボール選手権大会

開催場所: **酒田市国体記念体育館　Aコート**

試合区分: **No. 113 男子　　準決勝**

期　　日: **2014(H26)年11月3日 (月)**　　主審: **北沢 岳夫**

開始時間: **09:30**　　副審: **那須 弘幸 ,水木 順仁**

九州電力 (実業団1)	○ 74	16 — 10 14 — 14 17 — 13 27 — 16 — — —	● 53	横河電機 (実業団4)

NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		松谷　直人	2	0	1	0	1	0		田ヶ谷 治	−	−	−	−	−
6		柚木　毅	−	−	−	−	−	1		西村 直久	−	−	−	−	−
8		岡　隆輔	2	0	1	0	0	7	*	梅田 稔人	2	0	1	0	2
9	*	田中　喜陽	13	0	6	1	1	8		神﨑　健	0	0	0	0	2
12	*	織田　秀司	8	0	3	2	0	9		佐藤　岳	−	−	−	−	−
14		大野　敬太	−	−	−	−	−	10	*	小野 大貴	7	0	3	1	0
15		賀来　龍矢	0	0	0	0	1	13		小林 一哉	0	0	0	0	1
16		村瀬　敦希	7	1	2	0	0	14		森川　純平	−	−	−	−	−
21	*	毛利　孝志	13	2	2	3	0	18		齋藤 航平	−	−	−	−	−
24		中深迫　諒太	2	0	1	0	0	20		張　威威	−	−	−	−	−
26		坂本　祐一	3	1	0	0	1	21	*	山田 純也	20	0	9	2	5
30	*	吉満　俊孝	0	0	0	0	2	22		浦中　旭	7	0	3	1	2
33		横山　優王	1	0	0	1	0	24	*	梶原　剛	9	1	3	0	2
34		佐敷　幸英	−	−	−	−	−	28		能登 裕介	−	−	−	−	−
35		熊谷　駿	0	0	0	0	0	33	*	笹　義仁	4	0	2	0	3
40		赤星　雄平	2	0	1	0	3	77		飯島 章仁	4	0	2	0	1
45		根岸　豪	5	0	1	3	2								
91	*	酒井　祐典	16	2	5	0	1								
コーチ		山口　健太郎 / TEAM						コーチ		小納　真良 / TEAM					
		合計	74	6	23	10	12			合計	53	1	23	4	18

S: スターター　PTS: ポイント　3P: 3ポイントシュート　2P: 2ポイントシュート　FT: フリースロー　F: ファール

1P:両チームマンツーマンでスタート。九州電力は1対1を中心に、横河電機はセットプレーを中心にオフェンスを展開、九州電力＃9田中のシュートが随所に決まるが、横河電機も粘り強いリバウンドから＃21山田がシュートを決めて食い下がる。中盤から両チームの激しいディフェンスで中々得点が伸びないが、途中交代の九州電力＃21毛利の連続ポイントで九州電力が16－10とリードする。
2P:両チームの激しいディフェンスで、シュート数は多いもののお互いシュートが決まらないままロースコアで試合が進む。そんな中、横河電機＃21山田が得点を決めて詰めていくが、九州電力は＃16村瀬＃91酒井の3ポイント、＃21毛利のインサイドで応酬し九州電力30－24横河電機で2P終了。
3P:横河電機は＃21山田＃77飯島のジャンプシュートで追い上げる。九州電力は頻繁にメンバーを入れ替えて試合のペースを上げて行き、＃91酒井3ポイント、2ポイントの連続シュートで差を広げて行く。残り3分、横河電機はたまらずタイムアウト！しかし九州電力の勢いは止まらず、＃9田中＃40赤星のシュートが決まり、九州電力47－37横河電機と九州電力が10点のリードを広げ3P終了
4P:立ち上がり九州電力は＃8岡＃45根岸がインサイドで得点を決めてリードを広げる。追いかけたい横河電機だがシュートが中々決まらない。そんな中、横河電機＃21山田が孤軍奮闘し得点を決め、必死に追いかけるも、九州電力のシュートが随所に決まりリードが広がっていく。横河電機は残り3分タイムアウト後にゾーンディフェンスに変えリズムを変えようとするが、九州電力のオフェンスを抑えることができない。結局実力に勝る九州電力が74－53で勝利し決勝戦に駒を進めた。